

# 鳴滝通信

～夢や希望をもって自ら学ぶ鳴滝生～

令和2年12月1日  
京都市立鳴滝総合支援学校  
校長 玉 梶 香 織

朝晩の冷え込みも厳しくなり、冬の訪れを感じます。

令和2年も早いもので、残り1か月となりました。何かと「特別な」1年になりましたが、残り1か月を元気にそして充実して過ごし、いいカタチで1年を締めくくれますように。

## 令和2年度 学校祭！

11月6日（金）に学校祭を行いました。午前には体育の部、午後は文化の部ということで、小学部や高等部普通科、生活産業科が工夫を凝らし、学校祭テーマ「ともしつなかる ～2020 Narutaki Youth～」のもと楽しく思い出に残る1日を過ごしました。



## 母校を応援！ふるさと納税制度(総合支援学校対象)のご案内

京都市教育委員会では、ふるさと納税制度を活用し、本市立高等学校及び総合支援学校を「学校単位」で応援する寄付事業を実施しています。

寄付金は、各学校へ配当され、教育環境を維持・充実させるために使用させていただきます。

次代を担う子どもたちの健全育成のため、卒業生をはじめとして、広く皆様からの御支援・御寄付を募っております。

詳細については、こちらのページをご覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000275327.html>

【鳴滝の取組についても掲載しています】



## 第27回 雇用フォーラム

11月11日（水）に「第27回 障害のある市民の雇用フォーラム」が京都市総合教育センターで行われました。

総合支援学校高等部卒業後、5年・10年以上勤続された方々の表彰や、支えていただいた企業様へ感謝状の贈呈等がありました。鳴滝の卒業生も多数表彰状を受け取り、5年表彰者の代表としてスピーチをした卒業生もいました。

また、生活産業科1年生の生徒がスタッフとして参加し、会場設営や受付、案内誘導の役割を担いました。

表彰されている先輩たちの姿を自分たちの将来と重ねることができ、任された仕事も最後までしっかりやりとげることができました。



## 新しい教職員のご紹介

どうぞよろしくお願いいたします



ないとう まさよし  
内藤 真義  
(指導部)



たなべ みほ  
田辺 海帆  
(学習指導員)

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
「京都はぐくみ憲章」を実践しよう！

